

くまうひたものうひつみげともなうそくぬきも病をあらはす

古語よするぬく足る煩るのりや畳上よつみくも架よとぬり

えぞいと病る鷹あれぢや病鷹の形容をいひそぐとハゆぎとく

ふしく病ぬ形や塙本二句もそのこととあるものなり

ちしめこれ枝の枝よたすねをこれとつやめるといふ^{ひげ塙本}む

古語よ云授の股よ濁れるをどうげの薬よ用るや又云歩み

とくぬよとぬるも同一それとつがれよともやといふ是ハ

歩れ切口よ濁れるさうつがのふとぬこれとさう一葉やさく初

句ハ唯鷹の羽あきばいひ一のち写本の語あり二二句はうつり

鷹のふといひうげとちをよぬ